

速報!

主婦の友社が新書市場へ「テーマ型」参入

主婦の友新書『なくなる日シリーズ』10月6日創刊!

がなくなったら.....「読むワイドショー」新書が登場!

政治、経済、医療、文化、家庭、風俗 etc、「なくなる」を切り口に今を追究します!

企画案内とパンフレットPDFはコチラ

http://corporate.shufunotomo.co.jp/wp-content/uploads/2010/09/083112_nakunaru_4p.pdf

10月6日発売は4点!

- ・「婚活」がなくなる日 苦米地 英人 著
- ・末期がん、その不安と怖れがなくなる日 樋野 興夫 著
- ・政治家がなくなる日 平野 和之 著
- ・「暮らし力」がなくなる日 近藤 典子 著

いずれも本体価格は762円。毎月6日頃発売。

11月ラインナップ

- ・霞ヶ関がなくなる日 みんなの党 渡辺喜美、浅尾慶一郎 著
- ・人事課がなくなる日 前田英三郎、小山昇 著
- ・ラーメンがなくなる日 新横浜ラーメン博物館館長 岩岡洋志 著
- ・プロフ中毒 子どもの秘密がなくなる日 渡辺真由子 著

12月ラインナップ

- ・レストランがなくなる日 犬養裕美子 著
- ・イチローのバットがなくなる日 長谷川晶一 著
- ・ドルパワーがなくなる日 江波戸哲夫・竹谷仁宏 著
- ・日本から水がなくなる日 橋本淳司 著

【編集長 吉原秀則からのご挨拶】

一步踏み出すと、後ろはもう既に過去のもので。人が、世の中が動き始めると、そこには時間が流れているのです。何かが始まるというのは、何かが終わることです。 なくなる日、それは取りも直さず、何かが生まれる日なのです。新書という形を借りた、主婦の友社の「なくなる日」シリーズ。事象、暮らし、風俗、マインド.....さまざまな「なくなる」ものが登場してまいります。人は一人では生きていけません。まして、自分を囲むさまざまなものとも無関係には生きていけません。自分はどの時代に生き、誰と接し、何を思いながら自らの生を紡いでゆくのか.....それらの心の底を「なくなる日」では、呼び覚ましていきたいと思っています。新書を一冊読み終えたとき、ふと、自らの内に問いかけたくなる、そんなシリーズの船出です。お楽しみに!

書籍紹介に関するお問い合わせ

主婦の友社 販売部宣伝課 TEL03-5280-7577 /FAX03-5280-7578 担当: 酒見、柴崎